

11. 池田分場

- (1)土井建治郎(1954):遮光及び密植による大豆品種間の徒長並びに結実について。
中国四国農研、5～6:54～59。
- (2)貴田武捷・天野晃・川人浩(1954):大豆品種分布の実態調査 徳島県の部。
農業改良技術資料、(46):1～26。
- (3)川人浩(1954):徳島県におけるたばこ後作陸稲、馬鈴薯栽培について。
関西農経講演要旨(4回)
- (4)桑野正信・川人浩(1956):大豆栽培におけるセスの除草効果について。
四国農研、(3):24～25
- (5)桑野正信・天野晃・川人浩・細川幸之助(1957):菜種の萎縮及び不稔障害に対する硼素の
効果。
徳島農試研報、(3):3～5。
- (6)天野晃・川人浩・細川幸之助(1957):菜種の萎縮及び不稔障害に対する硼素の効果。
四国農研、(5):13～15。
- (7)桑野正信(1959):陸稲栽培の安定化に関する研究(第1報)陸稲の収量と気象との関係。
徳島農試研報、(4):1～3。
- (8)桑野正信・川人浩(1959):陸稲栽培の安定化に関する研究(第2報)陸稲品種のは種期の
移動に伴う出穂反応について。
徳島農試研報、(4):4～7。
- (9)桑野正信・天野晃・長居勝美(1960):前作麦がタバコの生育・収量に及ぼす影響について。
徳島農試研報、(5):27～30。
- (10)真淵昭雄・細川幸之助(1969):徳島県における緑茶栽培の現状と問題点。
徳島農試研報、(11):84～94。
- (11)川人浩・長居勝美・藤井文明・木藤繁樹・三宅節(1977):山間傾斜地における畑作複合経営
徳島農試研報、(15):79～84。
- (12)細川幸之助・川人浩・長江十一・松岡正信(1980):栽植密度と施肥量が茶樹の早期成園化に
およぼす影響。
徳島農試研報、(18):30～35。
- (13)川下輝一・浦上好博(1982):新規造成畑の野菜に対する有機物の施用効果。
徳島農試研報、(20):77～85。
- (14)細川幸之助・松岡正信・長江十一(1982):傾斜地新植茶園の敷草が茶樹の生育と土壤侵食に
及ぼす影響。
徳島農試研報、(20):86～96。